

# 第270回 日本循環器学会関東甲信越地方会

**日 時** 令和5年12月16日(土)  
**会 場** ステーションコンファレンス東京 5・6階 (千代田区)  
第I会場 (503CD)  
第II会場 (503AB)  
第III会場 (501A)  
第IV会場 (501B)  
第V会場 (602AB)  
第VI会場 (605BC)  
PCセンター (501S)  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5・6階  
TEL 03-6888-8080

**会 長** 東京医科歯科大学大学院循環制御内科学  
笹野 哲郎

## 御 案 内

- 参加費**：会員 3,000円  
後期研修医、コメディカル 1,000円  
初期研修医、医学部学生 無料  
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。
- 受付時間**：参加受付 8:30-17:50  
PCセンター 8:30-17:30
- 一般演題発表時間**：口演5分、討論2分
- Award**：Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。  
選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、討論4分)  
Student Award：第II会場：16:00-16:50  
Resident Award：第II会場：17:00-17:50  
Case Report Award：第I会場：16:00-16:50  
Clinical Research Award：第I会場：17:00-17:50  
なお、以下の項目が審査の対象となります。
  - 正しい医学用語の使用
  - 発表時間の厳守と態度
  - 考察
  - 質問に対する応答
  - 循環器臨床に対する貢献度表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。
- その他**：会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただきマナーモードに設定して下さい。  
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

### 託児サービスのご案内

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

**社員総会**：地方会終了後、第I会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会：第271回地方会は次の通りです。

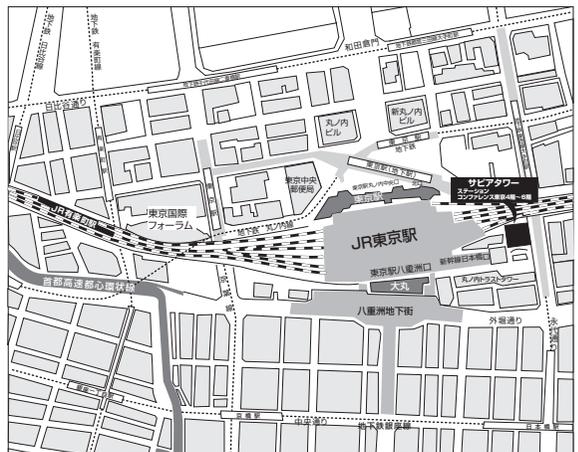
日時：令和6年2月17日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：田邊 健吾

(三井記念病院循環器内科)

## ステーションコンファレンス東京 案内図



### 交通のご案内

#### 【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口から直結

## 【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。

### ●Windows でデータを作成された場合：データをお持ち下さい

- USBフラッシュメモリに保存してご提出下さい。  
(DVD・FD・MO等は受付できませんのでご注意ください。)
- OSはWindows 10、アプリケーションはPowerPoint 2013、2019、2021に対応しております。  
それ以外のソフトや動画が多い場合は、ご自身のPCをお持ち下さい。
- フォントはOS (Windows 10) 標準のもののみご用意致します。  
日本語：MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝  
英語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century  
Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia  
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 液晶プロジェクターの解像度はフルHD (1,920×1,080dpi) まで対応しております。
- ご用意いただくUSBフラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- ご発表開始時刻の30分前までにPCセンターでご発表データを試写確認のうえ、ご提出下さい。  
午前の最初のセッションの時間帯ではPCセンターが混雑しますので、お早めにお越し下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご発表データは事務局で責任を持って消去致します。

### ●Macintoshでデータを作成された場合：ご自身のPCをご持参下さい

- 必ずACアダプターをご用意下さい。



HDMI



HDMI



付属外部出力ケーブル例

- 動画もご利用いただけますが、再生できることをPCセンターで必ずご確認下さい。
- 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、HDMIによるモニター出力が必要です。  
ご持参いただくPCからHDMIへの変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意下さい。 HDMI以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。
- ご講演時は演台にあるマウス又はキーボードにてスライドの操作をお願いいたします。操作機器の接続にUSBポートを使用するため、USBポートがないPCをお持ちの場合は変換コネクタをご用意ください。(例：MacBook Type-CからUSB変換)
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいて下さい。
- 電源ケーブルを必ずご持参下さい。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 発表開始時刻の30分前までに、PCセンターで試写を行ってください。PCセンターならびにPCオペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- 念のため発表用データのバックアップを必ずご持参下さい。
- ご持参頂くPCに保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいて下さい。
- PCをお預かり時にお渡しする半券はPC返却時に必要ですので大切に保管して下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご講演時に原稿が必要な場合は、予め印刷してご持参下さい。

第270回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和5年12月16日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）

会長：東京医科歯科大学大学院循環制御内科学 笹野 哲郎

	第Ⅰ会場	第Ⅱ会場	第Ⅲ会場	第Ⅳ会場	第Ⅴ会場	第Ⅵ会場
8:50	開会挨拶					
9:00	教育セッションI 9:00-10:30 AIハズオン1 テーブルデータ解析 演者：中村 知史 (名古屋ハートセン ター循環器内科) 演者：清水 雅人 (横浜南共済病院循 環器内科)	9:00 一般演題 9:00-9:35 不整脈1 セッション1 9:35 休憩 9:45 一般演題 9:45-10:20 不整脈2 セッション2 10:20 セッション2	9:00 一般演題 9:00-10:00 虚血性心疾患1 セッション3 10:00 休憩 10:05 一般演題 10:05-11:05 虚血性心疾患2 セッション4 11:05 休憩 11:10 一般演題 11:10-12:10 虚血性心疾患3 セッション5	9:30 一般演題 9:30-10:15 心内膜炎 セッション7 10:15 休憩 10:30 一般演題 10:30-11:15 弁膜症1 セッション8 11:15 休憩 11:25 一般演題 11:25-12:10 弁膜症2 セッション9	9:00 一般演題 9:00-9:35 肺高血圧/高血圧・低血圧 セッション11 9:35 休憩 9:50 一般演題 9:50-10:50 心筋炎・心筋症1 セッション12 10:50 休憩 11:10 一般演題 11:10-12:10 心筋炎・心筋症2 セッション13	9:30 一般演題 9:30-10:15 心膜腫瘍 セッション14 10:15 休憩 10:25 一般演題 10:25-10:55 腫瘍循環器 セッション15 10:55 休憩 11:05 一般演題 11:05-12:10 末梢血管/静脈/ 大動脈 セッション16
10:30	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
10:40	会長企画セッションI 10:40-12:10 循環器領域にお ける医工連携の 発展	10:40 教育セッションIII 10:40-12:10 高安静脈炎の 診断と治療 演者：磯部 光章 (榑原記念病院/東 京医科歯科大学)	11:05 休憩 11:10 一般演題 11:10-12:10 虚血性心疾患3 セッション5	11:25 一般演題 11:25-12:10 弁膜症2 セッション9	11:10 一般演題 11:10-12:10 心筋炎・心筋症2 セッション13	11:05 一般演題 11:05-12:10 末梢血管/静脈/ 大動脈 セッション16
12:10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー1 共催：ポストン・サイエ ンティフィック ジャパン 株式会社	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー2 共催：日本メトロ ニック株式会社	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー3 共催：エドワーズライフ サイエンス株式会社	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー4 共催：日本ペーリンガー インゲルハイム株式会社/ 日本イライリ株式会社	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー5 共催：ニプロ株式会社	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー6 共催：ジョンソン・エン ドジョンソン株式会社
13:10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
13:20	教育セッションII 13:20-14:50 AIハズオン2 画像解析 演者：関 倫久 (東京大学医学部附属 病院企画情報運営部)	13:20 基礎研究セミナー 13:20-14:50 循環器基礎研究 セミナー ～循環器医が基礎研 究を志す理由は？～	13:20 生物統計セミナー 13:20-14:50 生物統計：研究 デザインから結 果の解釈まで	13:20 第17回 ダイバーシティ・ フォーラム/ 第4回 U-40 企画セッション 13:20-14:50	13:20 学術委員会企画 セッション 13:20-14:50 重症虚血性心疾 患における Impellaの役割を 考える	13:20 会長企画セッションII 13:20-14:50 Up-to-date: 重症心不全治療 の最先端
14:50	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
15:00	15:00-15:50 デザートセミナー1 共催：第一三共株式会社	15:00 15:00-15:50 デザートセミナー2 共催：アストラゼ ネカ株式会社/小野 薬品工業株式会社	15:00 15:00-15:50 デザートセミナー3 共催：バイエル薬品 株式会社	15:00 15:00-15:50 デザートセミナー4 共催：日本ライフ ライン株式会社	15:00 15:00-15:50 デザートセミナー5 共催：プリストル・マイヤーズ スクイ株式会社	15:00 一般演題 15:00-15:50 その他/基礎研究 /川崎病 セッション17
15:50	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
16:00	16:00-16:50 Case Report Award	16:00-16:50 Student Award	16:00 一般演題 16:00-16:50 虚血性心疾患4 セッション6 16:50	16:00 一般演題 16:00-16:50 デバイス/心不全 セッション10	16:00 心不全療養指導 士セッション 16:00-17:30 東京「心不全療 養指導士」コレ クション ～資 格取得後の療養 指導の実践報告 と今後の展望～	16:00 16:00-18:00 医療安全・医療倫 理に関する講習会 (DVDセッション)
16:50	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
17:00	17:00-17:50 Clinical Research Award	17:00-17:50 Resident Award			17:30	
17:50						
18:10	評議員会					

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション、医療安全・医療倫理に関する講習会）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しください。セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）、医療安全・医療倫理に関する講習会（2単位）はそれぞれ単位の登録手続を行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～17:50（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 8:30～10:00/10:10～11:40/12:50～14:20（開始30分前から終了30分前まで）

■「医療安全・医療倫理に関する講習会」（2単位）受付時間 15:30～17:30（開始30分前から終了30分前まで）

## 第 I 会場

### 教育セッション I

9:00-10:30

座長 (藤田医科大学ばんだね病院内科) 渡邊 英一  
座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

### AIハンズオン1 テーブルデータ解析

AIを用いた臨床研究入門ハンズオン 表データの機械学習編

(名古屋ハートセンター循環器内科) 中村 知史  
(横浜南共済病院循環器内科) 清水 雅人

### 会長企画セッション I

10:40-12:10

座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳  
座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

### 循環器領域における医工連携の発展

基礎研究から応用研究までの包含する不整脈領域における医工連携研究の可能性

(東京大学大学院工学系研究科医療福祉工学開発評価研究センター) 佐久間一郎  
瀬野 宏、富井 直輝、山崎 正俊

AIを活用した心電図解析と診断の未来

(京都府立医科大学不整脈先進医療学講座) 妹尾恵太郎

脱衣・装着を要しない生体モニタリングの循環器領域における発展

(東京電機大学工学部電気電子工学科) 植野 彰規

機械学習を用いた心疾患リスク層別化研究

(藤田医科大学ばんだね病院内科) 渡邊 英一

### ランチョンセミナー 1

12:20-13:10

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
座長 (横浜南共済病院) 鈴木 誠

### AF Total Management どうする？脳卒中と出血リスク患者の治療方針

『アブレーション及びWATCHMANを活用した塞栓予防法』

(亀田総合病院) 水上 暁

『左心閉鎖術の現在地—日常診療での活用』

(新百合ヶ丘総合病院) 高橋 良英

### 教育セッション II

13:20-14:50

座長 (横浜南共済病院循環器内科) 清水 雅人

### AIハンズオン2 画像解析

深層学習を用いた医療画像データ分類のハンズオン

(東京大学医学部附属病院企画情報運営部) 関 倫久

デザートセミナー 1

15:00-15:50

共催：第一三共株式会社  
座長（東京医科歯科大学循環器内科） 宮崎 晋介

「心房細動アブレーション時代のミスを防ぐシンプルな抗凝固薬選択」  
（東京大学医学部附属病院循環器内科） 山形研一郎

Case Report Award

16:00-16:50

座長（防衛医科大学校循環器内科） 足立 健  
座長（済生会横浜市東部病院こどもセンター総合小児科） 岩本 眞理  
審査委員長（東海大学医学部内科学系循環器内科学） 伊苺 裕二  
審査委員（慶應義塾大学医学部放射線科学） 陣崎 雅弘  
審査委員（日本大学医学部内科学系先端不整脈治療学分野） 中井 俊子  
審査委員（東京医科歯科大学循環器内科） 米津 太志

I-1 経皮的左心耳閉鎖術後早期に脳塞栓を発症した一例  
（昭和大学医学部循環器内科）

横川 大介  
望月 泰秀、新家 俊郎、後閑 俊彦、小崎 遼太、  
田中 秀彰

I-2 血液透析導入により、QT延長と多形性心室頻拍が惹起された1例  
（昭和大学藤が丘病院循環器内科）

石井 克政  
小貫 龍也、杉山 拓士、間瀬 浩、曾根 浩元、  
鈴木 洋

I-3 心タンポナーデで発症した右房内原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫を診断し、治療しえた1例  
（さいたま赤十字病院循環器内科）

道下 俊希  
稲葉 理、黒坂 英司、池口 琴乃、松本 慧、  
目黒 眞、中田健太郎、成田 岳、磯長 祐平、  
加藤 駿一、橋 伸一、大屋 寛章、羽田 泰晃、  
狩野 実希、高木 崇光、稲村 幸洋、根木 謙、  
佐藤 明、大和 恒博、松村 穰  
（東京医科歯科大学循環器内科） 笹野 哲郎

I-4 嚔下誘発性心房頻拍をトリガーとした発作性上室性頻拍により失神発作をきたした一例  
（横浜南共済病院循環器内科）

酒井 瑛子  
角田 貴大、清水 厚哉、三須 彬生、立石 遼、  
山口 正男、加藤 信孝、島田 博史、一色 亜美、  
鈴木 秀俊、清水 雅人、藤井 洋之、鈴木 誠  
（東京医科歯科大学循環器内科） 笹野 哲郎

I-5 治療経過の中で高アドレナリン様の病態を呈しイバブラジンが奏功した身体機能低下体位性頻脈症候群の一例

（東京都立多摩総合医療センター循環器内科）

細野 将太  
宮部 倫典、田中 西佳、藤井 駿、三輪 裕仁、  
守井 悠祐、立石 桜、岡部はるか、櫻井進一朗、  
岡部 龍太、森永 弘章、西村 暁弘、三ツ橋裕哉、  
加藤 賢、田中 博之  
（東京都立神経病院脳神経内科） 角南 陽子

座長 (日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野) 清水 渉  
 座長 (信州大学医学部循環器内科学教室) 桑原宏一郎  
 審査委員長 (千葉大学大学院医学研究科循環器内科学) 小林 欣夫  
 審査委員 (山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学) 佐藤 明  
 審査委員 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男  
 審査委員 (東京医科歯科大学循環器内科) 前嶋 康浩

- I-6 虚血性心疾患を有する透析患者に対するPCI後の、PCSK-9阻害薬投与の有効性に関する前向き研究  
 (横須賀共済病院循環器内科) 菱刈 景一  
 疋田 浩之、高橋 健、渡邊 崇弘、池田 博、  
 張 峻模、伊藤 諒、矢野 弘崇、川口 直彦、  
 中島永美子、村井 典史、高木 克昌、大久保健史、  
 田中 泰章、高橋 淳  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志、笹野 哲郎
- I-7 身体フレイル関連要素を有する急性心不全患者に対するSGLT-2阻害薬の有効性・安全性に関する検討  
 (防衛医科大学校病院循環器内科) 内藤 朱美  
 岩下 碧、池上 幸憲、足立 健  
 (防衛医科大学校病院循環器内科/榊原記念病院循環器内科)  
 (榊原記念病院循環器内科) 長友 祐司  
 (東京都済生会中央病院循環器内科) 北村 光信  
 (杏林大学医学部附属病院循環器内科) 武井 眞  
 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 合田あゆみ、河野 隆志  
 (聖路加国際病院循環器内科) 中埜信太郎  
 (東京医療センター循環器内科) 水野 篤  
 (慶応義塾大学病院循環器内科) 坂本 宗久  
 白石 泰之、香坂 俊、吉川 勉
- I-8 急性心不全に対するDoor to Furosemide time (D2F) とFurosemide初回静注量による短期予後の検討  
 (国保旭中央病院循環器内科) 外田 望  
 荒川 雅崇、矢島 琴音、佐橋 秀一、市原 慎也、  
 平野 智士、早川 直樹、宮地浩太郎、櫛田 俊一
- I-9 CTを用いた肺高血圧症における新しい右室心筋変性評価指標の検討 推定肺動脈収縮期圧との比較  
 (国際医療福祉大学保健医学専攻放射線・情報学科) 宿谷 篤  
 梶沢 宏之  
 (東京大学医学部循環器内科) 坂本 愛子  
 (栗山医院) 栗山 喬之  
 (千葉西総合病院放射線部) 山崎 隆広  
 (国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎
- I-10 肺静脈剥離術が予定された心房細動症例における左房リモデリング評価 スペクトラルCTを用いた検討  
 (千葉西総合病院循環器内科) 赤座 慎  
 三角 和雄  
 (千葉西総合病院心臓血管外科) 中山 泰介、中村 喜次  
 (東京大学医学部循環器内科) 坂本 愛子  
 (国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

## 第Ⅱ会場

### 一般演題 セッション1 不整脈1

9:00-9:35

座長 (さいたま赤十字病院循環器内科) 稲葉 理  
座長 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 黒川早矢香

#### II-1 左室最上部起源頻拍に対してエタノールアブレーションが有効であった肥大型心筋症の一例

(新百合ヶ丘総合病院循環器内科)

田仲 明史

高橋 良英、清川 篤、中島 聡良、河俣 僚太、

秋元 耕、前野 遼太、福島 琢、櫻井 馨、

畔上 幸司

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

#### II-2 持続性心房細動アブレーション後にたこつば型心筋症/Torsades de Pointesを呈した一例

(土浦協同病院循環器内科)

石沢 太基

仲田 恭崇、佐藤 慶和、平野 秀典、土居 惇一、

原 聡史、三輪 尚之、久佐 茂樹、蜂谷 仁

#### II-3 右房-上大静脈間の伝導様式を考慮した上大静脈隔離法

(東京都立豊島病院循環器内科)

松田 凌也

中島 淳、山川 祐馬、原 果里奈、阪口 楓、

仲村 太一、藤波 竜也、畑 明宏

#### II-4 心拍数調整に難渋し急速に血行動態破綻する頻脈性心房細動に対して緊急アブレーションを行い救命し得た一例

(東京医科歯科大学循環器内科)

矢野 弘崇

(横須賀共済病院循環器内科)

田中 泰章、松本 拓巳、渡邊 崇弘、高橋 健、

益本 寛之、池田 博、山口 雄大、張 峻模、

伊藤 諒、菱刈 景一、川口 直彦、中島永美子、

村井 典史、高木 克正、大久保健史、疋田 浩之、

高橋 淳

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

#### II-5 心筋梗塞による完全房室ブロックと左室破裂をきたし心タンポナーデを生じ死亡した一例

(国保旭中央病院循環器内科)

矢島 琴音

佐橋 秀一、荒川 雅崇、市原 慎也、平野 智士、

井ノ口安紀、早川 直樹、宮地浩太郎、櫛田 俊一

### 一般演題 セッション2 不整脈2

9:45-10:20

座長 (土浦協同病院循環器内科)

蜂谷 仁

座長 (新潟大学循環器内科)

長谷川祐紀

#### II-6 神経調節性失神を合併したBrugada症候群の2例

(新潟医療センター)

坂井 響介

渡邊 達、袴田 崇裕、真田 明子、富井亜佐子、

樋口浩太郎

#### II-7 WPW症候群に伴う偽性心室頻拍から心室細動をきたしたと考えられる一例

(聖路加国際病院循環器内科)

持田 千幸

齊藤 輝、増田 慶太

II-8 卵円孔開存症 (PFO) を介した奇異性動脈塞栓による心原性脳梗塞を発症したと推測された一例

(水戸済生会総合病院循環器内科)

宮田 忠樹  
本田 幸弥、長谷川智明、清瀬 敬太、藤沼 俊介、  
川原 有貴、樋口 基明、石橋 真由、山田 典弘、  
青沼 和隆、千葉 義郎

II-9 心房細動アブレーション後の左房食道瘻を開胸左房瘻孔閉鎖および内視鏡的食道ステント留置で救命しえた一例

(山梨大学医学部循環器内科)

鈴木 惇平  
黒木 健志、田中 裕也、須藤 洸司、朝比奈千沙、  
佐藤 明

(山梨大学医学部心臓血管外科)

加賀重亜喜

II-10 ICD頻回作動を合併した早期再分極症候群患者に契機となる心室性期外収縮へのアブレーションが奏功した1例

(武蔵野赤十字病院循環器科)

小井土文香  
埜本 優太、永田 恭敏、内藤 倫人、松田 和樹、  
左山 耕大、小田中勇樹、加地 大悟、松山 麻央、  
堀江 知樹、長瀬 将、大方信一郎、三澤 透、  
宮崎 亮一、金子 雅一、李 哲民、野里 寿史、  
足利 貴志

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

教育セッションⅢ

10:40-12:10

座長 (日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野) 清水 渉

高安動脈炎の診断と治療

高安動脈炎の診断と治療：特に心臓血管合併症の治療について

(榊原記念病院/東京医科歯科大学)

磯部 光章

ランチオンセミナー2

12:20-13:10

共催：日本メドトロニック株式会社

座長 (東京慈恵会医科大学循環器内科) 山根 禎一

パルスフィールドアブレーションでこれからのアブレーションはどう変わる？

押さえておきたい！パルスフィールドエネルギーの特徴とは？

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

押さえておきたい！臨床知見から紐解くPFAのメリット

(東京医科歯科大学循環器内科)

宮崎 晋介

※本講演には本邦未承認品に関する内容を含みます。

基礎研究セミナー

13:20-14:50

座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 瀧本 英樹

座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 宮崎 晋介

循環器基礎研究セミナー ～循環器医が基礎研究を志す理由は？～

基礎研究留学の経験が現在携わっている臨床・研究に活かしていること

(日本医科大学千葉北総病院集中治療室)

白壁 章宏  
鳴原 祥太、西郡 卓、澤谷 倫史、谷 憲一、  
木内 一貴、神谷 尚吾

(日本医科大学付属病院循環器内科)

浅井 邦也

基礎研究留学の経験を心血管画像診断に活かす  
(東京医科大学循環器内科) 小菅 寿徳

動物実験から見たPulsed Field Ablationの特徴と有用性  
(東京医科歯科大学循環器内科) 河村 岩成

循環器基礎研究放浪記～肥満、不整脈からエピソードへ  
(東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター/循環器内科) 高橋健太郎

デザートセミナー2 15:00-15:50 共催：アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式会社  
座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

心不全診療の最前線 ～心腎連関を考慮したSGLT2阻害薬の役割を考察する～  
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 石田 純一

Student Award 16:00-16:50  
座長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩  
座長 (日本医科大学武蔵小杉病院総合診療科) 塚田 (哲翁) 弥生  
審査委員長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹  
審査委員 (自治医科大学附属いづみ医療センター循環器内科) 藤田 英雄  
審査委員 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙  
審査委員 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学) 石井 秀樹

II-11 酸化ストレス負荷下において心筋細胞より放出される細胞外小胞の持つ脂肪分化抑制作用について  
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体検査科学講座疾患生理機能解析学分野) 倉田 農  
松沢 優、柿沼 晴  
(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科生体検査科学講座疾患生理機能解析学分野/循環器内科) 山口 純司  
(東京医科歯科大学循環器内科) 井原 健介、川尻 紘平、新田 義一、中釜 瞬、  
岩宮 賢、前嶋 康浩、笹野 哲郎

II-12 HFpEFにおけるImproving Renal Function (IRF) の意義と入院時Fib4 indexによるIRFの予測  
(山梨大学医学部医学科) 入江 光顕  
(山梨大学医学部内科学講座循環器内科学教室) 渡邊 陽介、植松 学、堀越 健生、山口 千之、  
吉崎 徹、黒木 健志、小林 剛、中村 貴光、  
中村 和人、佐藤 明

II-13 妊娠中期に重症肺動脈性肺高血圧症を合併し心肺停止に陥ったが救命できた一例  
(杏林大学医学部医学科) 北村 夏陽  
(杏林大学医学部附属病院循環器内科) 菊池 華子、竹内かおり、伊波 巧、合田あゆみ、  
河野 隆志、副島 京子  
(杏林大学医学部附属病院産婦人科) 田嶋 敦、谷垣 伸治

II-14 スペクトラルCTにおけるヨード密度強調画像、実効原子番号画像を併用した肺動脈血栓栓検出能の向上  
(千葉大学医学部医学科) 齋藤江里彩  
小林 欣夫  
(千葉西総合病院循環器内科) 宿谷 篤、三角 和雄  
(国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎  
(東京大学医学部循環器内科) 坂本 愛子

II-15 肺動脈内膜摘除術直後の重症肺高血圧に対するrescue BPAの経験

(東京医科大学心臓血管外科)

橋本 葵妃  
鈴木 隼、本多 爽、岩堀 晃也、藤吉 俊毅、  
岩橋 徹、福田 尚司、島原 佑介

Resident Award

17:00-17:50

座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳  
座長 (慶應義塾大学医学部心臓血管外科) 志水 秀行  
審査委員長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎  
審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹  
審査委員 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子  
審査委員 (北里大学医学部循環器内科学) 阿古 潤哉

II-16 エポプロステノール投与によるACTH単独欠損症に対してトレプロスチニルへの切り替えが有効であった1例

(横浜市立大学附属病院循環器内科)

片山 響  
鈴木 徹、相澤広太郎、宮川 秀一、峯岸慎太郎、  
小村 直弘、川浦 範之、小西 正紹、岩橋 徳明、  
石上 友章

(横浜市立大学附属病院循環器内科/横浜市立大学市民総合医療センター心臓血管センター)

(横浜市立大学市民総合医療センター心臓血管センター)

日比 潔  
菅野 晃靖

II-17 アトピー性皮膚炎に合併した好酸球性心筋炎の一例

(武蔵野赤十字病院循環器科)

池田 紘一  
小井土文香、内藤 倫人、松田 和樹、左山 耕大、  
小田中勇樹、加地 大悟、照井 麻央、堀江 知樹、  
長瀬 将、大方信一郎、埜本 優太、三澤 透、  
宮崎 亮一、金子 雅一、高村 千智、李 哲民、  
永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志、笹野 哲郎

II-18 腸骨静脈圧迫症候群に対する静脈ステント治療後9年で慢性血栓性肺高血圧症 (CTEPH) に至った一例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科)

堀口くらら  
横森 広樹、齊藤 翔太、北野 奨真、鮫島 雄祐、  
矢口 知征、武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

II-19 難治性胃潰瘍の炎症浸潤により心筋壁の変性と胃左室瘻を形成し消化管出血を繰り返した一例

(東海大学医学部附属病院循環器内科)

北澤 拓治  
李 勅熙、柳下 敦彦、野田 賢史、吉川万里江、  
伊莉 裕二

II-20 Arrhythmic MRに対して完全鏡視下僧帽弁形成術、乳頭筋アブレーションが奏功した一例

(順天堂大学医学部附属順天堂医院心臓血管外科)

村田 直樹

(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

遠藤 大介、佐藤友一郎、木下 武、田端 実

## 第Ⅲ会場

### 一般演題 セッション3 虚血性心疾患1

9:00-10:00

座長 (東京医科歯科大学病院循環器内科) 松田 祐治  
座長 (船橋市立医療センター循環器内科) 青山 里恵

#### Ⅲ-1 右冠動脈の亜急性心筋梗塞治療後にDressler症候群を発症した一例

(昭和大学横浜市北部病院循環器内科)

小柳 唯  
宜保 雄磨、岡部 俊孝、大倉 武、伊藤 有輝、  
石垣 成紘、薄元宗一郎、成井 崇朗、藤岡 立樹、  
飛鳥井 邑、木村 太朗、斎藤 淳平、嶋津 英、  
大山 祐司、井川 渉、小野 盛夫、荏原誠太郎、  
磯村 直栄、落合 正彦

#### Ⅲ-2 良好な管理下で無症候性ステント内閉塞を起こした家族性高コレステロール血症の1例

(災害医療センター)

瀬上 将太  
清水 茂雄、白井 綾香、船山遼太郎、下里 光、  
土谷 健、早坂 和人、榊原 温志、山下 周、  
白井 康大、近江 哲生、大野 正和、佐々木 毅

#### Ⅲ-3 ACSで来院し、診断カテーテルで右冠動脈入口部の医原性冠動脈解離を形成するもペイルアウトに成功した1例

(聖隷横浜病院心臓血管センター内科)

仙波 貴之  
芦田 和博、新村 剛透、河合 慧、中島 啓介、  
山田 亘、長谷川和喜

#### Ⅲ-4 末梢動脈を血管内イメージングで観察した、特発性冠動脈解離を伴う線維筋性異形成の一例

(新東京病院循環器内科)

大内 徹  
中嶋 昭浩

#### Ⅲ-5 川崎病罹患後に冠動脈病変の指摘なく経過し、40代で急性心筋梗塞のため心停止に至った一例

(災害医療センター循環器内科)

白井 綾香  
榊原 温志、船山遼太郎、下里 光、瀬上 将太、  
土谷 健、早坂 和人、山下 周、白井 康大、  
近江 哲生、大野 正和、佐々木 毅、清水 茂雄  
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

#### Ⅲ-6 非閉塞性冠動脈心筋梗塞 (MINOCA) や心筋炎を疑ったがMRIで純中隔心筋梗塞が明らかとなった1例

(町田市民病院循環器内科)

鎌田 峻司  
佐々木 毅、矢崎 麻由、木村 峻輔、美蘭田 純、  
竹村 仁志、池田 泰子、黒澤 利郎

#### Ⅲ-7 肺サルコイドーシスに合併した心臓サルコイドーシスと虚血性心疾患との鑑別に難渋した1例

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

志賀野航生  
松尾 圭祐、武藤 康輔、関 要、長谷川早紀、  
保谷 洋貴、野本美智留、荒井 隆秀、中埜信太郎

Ⅲ-8 両冠動脈起始部病変を伴う心原性ショック症例に対してPCIで救命し得た一例

(武蔵野赤十字病院循環器科)

内藤 倫人  
加地 大悟、松田 和樹、左山 耕大、小田中勇樹、  
照井 麻央、堀江 知樹、大方信一郎、長瀬 将、  
埜本 優太、三澤 透、宮崎 亮一、金子 雅一、  
李 哲民、永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志  
笹野 哲郎

(東京医科歯科大学循環器内科)

一般演題 セッション4 虚血性心疾患2

10:05-11:05

座長 (JAとりで総合医療センター循環器内科) 山本 貴信

座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 立石 和也

Ⅲ-9 血管内視鏡の併用により病態に迫ることのできたACS2症例

(土浦協同病院循環器内科)

峯尾 堯  
臼井 英祐、坂本 達哉、田原 智大、瀬戸口実玲、  
上野 弘貴、野上 開、長嶺 竜宏、羽田 昌浩、  
角田 恒和  
米津 太志、笹野 哲郎

(東京医科歯科大学循環器内科)

Ⅲ-10 高度石灰化冠動脈病変に対しIVLシステムが著効した一例

(横須賀共済病院循環器内科)

山口 雄大  
菱刈 景一、松本 拓己、渡邊 崇弘、高橋 健、  
益本 寛之、池田 博、張 峻模、矢野 弘崇、  
伊藤 諒、川口 直彦、中島永美子、村井 典史、  
高木 克昌、大久保健史、田中 泰章、疋田 浩之、  
高橋 淳  
笹野 哲郎

(東京医科歯科大学循環器内科)

Ⅲ-11 冠動脈完全閉塞病変を多種の冠動脈イメージングで観察し得た一症例

(国際医療福祉大学三田病院循環器内科)

木村 茂樹  
田村 祐大、岩澤 仁、田村 雄一、大門 雅夫、  
合屋 雅彦

Ⅲ-12 僧帽弁逆流の程度により異なる臨床像を呈した、回旋枝領域の心筋梗塞後乳頭筋断裂の二例

(JA長野厚生連北信総合病院循環器内科)

宮尾 陽平  
井出 翔吾、中澤 峻、清水 貴裕、櫻井 俊平  
金城 恒道  
奥村 裕土、酒井 健司、吉田 哲矢、荒井 裕国  
桑原宏一郎

(JA長野厚生連北信総合病院不整脈診療科)

(JA長野厚生連北信総合病院心臓血管外科)

(信州大学医学部循環器内科学教室)

Ⅲ-13 脱落したステントの回収に先端を加工したGuideplusが有用であった一例

(済生会横浜市東部病院循環器内科)

村井 篤弥  
小林 範弘、藤井陽太郎、谷中 夏海、瀬戸長雄介、  
香西 裕樹、深川 知哉、岸田登志彦、山口 航平、  
水澤 真文、白井 重光、本多 洋介、堤 正和、  
毛利 晋輔、山脇 理弘、伊藤 良明

- Ⅲ-14 閉塞性冠動脈疾患を有しない患者におけるCREDO-Kyoto血栓性リスクスコアと冠微小循環との関連  
 (横須賀共済病院循環器内科/東京医科歯科大学循環器内科) 高橋 健  
 (横須賀共済病院循環器内科) 村井 典史、松本 拓巳、渡邊 崇弘、益本 寛之、  
 山口 雄大、池田 博、張 峻摸、矢野 弘崇、  
 伊藤 諒、菱刈 景一、中島永美子、川口 直彦、  
 大久保健史、田中 泰章、高木 克昌、疋田 浩之、  
 高橋 淳  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志、笹野 哲郎
- Ⅲ-15 持続する心室細動に対しPCPS・PCI・Impellaを順次施行して救命し得た急性心筋梗塞の一例  
 (日立総合病院) 佐藤 琢耶  
 成田 真実、沖殿祐太郎、掛田 大輔、篠田 英樹、  
 大津 和也、遠藤 洋子、山内理香子、樋口 甚彦、  
 鈴木 章弘
- Ⅲ-16 巨大左室仮性動脈瘤を複数の画像検査で診断し治療しえた症例  
 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科) 矢田 優人  
 小林 宣明、諸岡 雅城、宮國 知世、合田 浩紀、  
 柴田 祐作、栗原 理、宮内 靖史、川瀬 康裕  
 (日本医科大学千葉北総病院集中治療室) 西郡 卓、白壁 章宏  
 (日本医科大学千葉北総病院心臓血管外科) 山下 裕正  
 (日本医科大学付属病院循環器内科) 浅井 邦也、新井 俊貴
- 一般演題 セッション5 虚血性心疾患3**  
**11:10-12:10** **座長 (平塚共済病院循環器内科) 大西 祐子**  
**座長 (東京都済生会中央病院循環器内科) 遠藤 彩佳**
- Ⅲ-17 広範囲前壁急性心筋梗塞を発症し待機的CABG及び左室形成術後にCPXを行ったスキーヤーの1例  
 (東京歯科大学市川総合病院リハビリテーション科) 小山 修平  
 堂前 伸、斎藤 剛史、堀田 拓  
 (東京歯科大学市川総合病院心臓血管外科) 村上 貴志、村田 哲、井上 仁人  
 (東京歯科大学市川総合病院循環器内科) 宮本 和享、助川 博章、守山 英則、山崎 雄友、  
 眞野 恵範、大木 貴博
- Ⅲ-18 筋弛緩薬により誘発されたKounis症候群のため全身麻酔導入後に心原性ショックに至った症例  
 (聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 中西 亨  
 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 原田 智雄、明石 嘉浩
- Ⅲ-19 冠微小循環障害の重要な関与が推察されたたこつぼ心筋症の1例  
 (国際医療福祉大学病院循環器内科) 大竹 直  
 池田 尚平、武田 守彦、佐藤 公一、篠崎真莉子、  
 渡邊 仁美、三木 景太、平野 道基、福田 浩二
- Ⅲ-20 家族性もやもや病を基礎疾患として持つ40代女性、急性心筋梗塞の一例  
 (東京山手メディカルセンター臨床研修医) 加納 裕也  
 (東京山手メディカルセンター循環器内科) 渡部 真吾、川勝 紗樹、沼部 紀之、増田 怜、  
 中村 玲奈、佐藤 弘典、村上 輔、吉川 俊治、  
 鈴木 篤、山本 康人、薄井 宙男  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅲ-21 兄の若年発症ST上昇型心筋梗塞を契機に診断に至った家族性高コレステロール血症の一卵性双生児に関する報告

(武蔵野赤十字病院循環器科) 馬場理紗子  
堀江 知樹、小井土文香、内藤 倫人、松田 和樹、  
左山 耕大、小田中勇樹、加地 大悟、照井 麻央、  
大方信一郎、長瀬 将、埜本 優太、三澤 透、  
宮崎 亮一、金子 雅一、李 哲民、永田 恭敏、  
野里 寿史、足利 貴志  
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅲ-22 ST上昇型心筋梗塞の短期臨床転帰における性差に関する検討

(東京医科歯科大学循環器内科) 柳原 奈桜  
松田 祐治、荒木 誠、山上 洋介、杉山 知代、  
梅本 朋幸、米津 太志、笹野 哲郎  
(青梅市立総合病院循環器科) 栗原 顕  
(土浦協同病院循環器センター内科) 角田 恒和  
(災害医療センター循環器科) 清水 茂雄  
(亀田総合病院循環器内科) 松村 昭彦  
(草加市立病院循環器内科) 稲垣 裕  
(平塚共済病院心臓センター循環器科) 大西 祐子  
(新百合ヶ丘総合病院循環器内科) 櫻井 馨  
(都立広尾病院循環器科) 土山 高明  
(武蔵野赤十字病院循環器科) 足利 貴志

Ⅲ-23 高度石灰化病変を伴う透析患者に対するPCI時の脂質管理の必要性の検討

(平塚共済病院循環器内科) 柏 良之輔  
大西 祐子、新井 亮太、宮崎 紘子、羽生 佳弘、  
荒木 恵子、飯谷 宗弘、秋吉 基光、岩井 慎介、  
村本 容崇、小林 一士  
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅲ-24 発症6日で来院した急性下壁心筋梗塞で心室中隔穿孔を合併し緊急手術で救命し得た1例

(横浜労災病院循環器内科) 真鍋 雄二  
福澤 朋幸、川口 琴子、吉田 裕紀、本道 春花、  
浅野 駿逸、田中 真吾、小和瀬晋弥、長田 淳、  
青木 元、柚本 和彦

ランチョンセミナー3

12:20-13:10

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社  
座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

ASの診断と治療アップデート ～拡がる治療の選択肢～

「本邦TAVI保険償還10年 —SAPIENの進化とTAVIで治療できること—」

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 三浦 瑞樹

生物統計セミナー

13:20-14:50

座長 (市立青梅総合医療センター循環器内科) 小野 裕一

生物統計：研究デザインから結果の解釈まで

臨床研究のデザインと統計解析：エビデンスレベルを高めるためのポイント

(東京医科歯科大学大学院臨床統計学分野) 平川 晃弘

デザートセミナー3

15:00-15:50

共催：バイエル薬品株式会社

座長 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 山本 剛

J'xactly Studyと新規画像診断を用いたVTE治療戦略

(日本大学医学部内科学系循環器内科学分野)

深町 大介

一般演題 セッション6 虚血性心疾患4

16:00-16:50

座長 (東京山手メディカルセンター循環器内科) 薄井 宙男

座長 (昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 佐藤 千穂

Ⅲ-25 レムナント様リポ蛋白 (RLP) コレステロールが高値であった20代男性急性心筋梗塞の1例

(東京山手メディカルセンター循環器内科)

川勝 紗樹

渡部 真吾、沼部 紀之、増田 怜、中村 玲奈、

佐藤 弘典、村上 輔、山本 康人、吉川 俊治、

鈴木 篤、薄井 宙男

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

Ⅲ-26 抗リン脂質抗体症候群、全身性エリテマトーデスを治療中の中年女性に生じた原発性冠動脈解離の1例

(日本大学病院循環器内科)

井上 健一

深町 大介、瀬戸口俊貴、弓倉 哲郎、野牛 聖那、

渡辺 洋司、榎田 綾乃、門傳 昌樹、足田 匡史、

磯 一貴、黒沼圭一郎、八木 司、鷺尾 武彦、

松本 真明、横山 勝章、谷 樹昌、松本 直也

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科)

奥村 恭男

Ⅲ-27 陳旧性心筋梗塞加療後、2年経過で出現・進展した仮性心室瘤の1例

(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科)

西尾 祥郎

有馬 秀紀、川地 祐輔、高口 知之、斎藤 一平、

越田 直也、安井 由美、河本 梓帆、小田 惇仁、

新井 紘史、村田 和也、佐川雄一朗、萬野 智子、

浅野 充寿、志村 吏左、倉林 学、山内 康熙

(横浜市立みなと赤十字病院心臓血管外科)

伊藤 智

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

Ⅲ-28 術中所見が診断の契機となったA型急性大動脈解離に合併した孤発性右室梗塞の1例

(新潟市民病院)

荻部 哲也

尾崎 和幸、内田 純也、岡村 俊孝、瀬尾 友太、

小柳 宣人、渡辺 光洋、柏 麻美、田中 孔明、

保坂 幸男、土田 圭一、高橋 和義

Ⅲ-29 慢性活動性EBウイルス感染症寛解後の進行性冠動脈病変に対して冠動脈バイパス術を施行した1例

(慶應義塾大学医学部循環器内科)

木戸 泰明

前田 高志、岩田 樹里、岸野 喜一、北方 博規、

白石 泰之、小平 真幸、林田健太郎、湯浅 慎介、

香坂 俊、家田 真樹

(慶應義塾大学医学部心臓血管外科)

山崎 真敬、志水 秀行

Ⅲ-30 巨大左室瘤を合併した多枝冠動脈解離の1例

(杏林大学医学部循環器内科)

長江 篤季

副島 京子、小山 幸平、斉藤 竜平、若林 典弘、

福士 圭、舟橋紗耶華、三浦 陽平、仲 悠太郎、

三浦 祐介、永松 佑基、中田 千穂、渡邊 貴之

(杏林大学医学部心臓血管外科)

窪田 博、遠藤 英仁、稲葉 雄亮

Ⅲ-31 TAFRO症候群による輸血抵抗性血小板減少症を合併した急性心筋梗塞に対する治療方針に苦慮した一例  
（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科） 齋藤 優  
澁谷 淳介、高橋 應仁、石原 翔、蜂須賀誠人、  
木村 徳宏、塩村 玲子、中田 淳、宮地 秀樹、  
山本 剛  
（日本医科大学付属病院循環器内科） 浅井 邦也

## 第Ⅳ会場

### 一般演題 セッション7 心内膜炎

9:30-10:15

座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 平澤 憲祐  
座長 (三井記念病院循環器内科) 堀内 優

#### IV-1 早期診断により速やかな外科的介入につながった収縮性心膜炎の一例

(青梅市立総合病院循環器内科) 岩佐 一輝  
菅原 祥子、石田 凌大、伊志嶺百々子、  
阿部 史征、矢部 顕人、山尾 一哉、宮崎 徹、  
鈴木 麻美、栗原 顕、小野 裕一  
(青梅市立総合病院心臓血管外科) 染谷 毅、黒木 秀仁、横山 賢司  
(青梅市立総合病院病理診断科) 伊藤 栄作  
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

#### IV-2 HACEKを起因菌とした感染性心内膜炎を発症した2症例

(藤沢市民病院循環器内科) 市川 大河  
高野 桂子、中田 明道、太田 慶介、近藤 愛、  
前島 信彦、塚原 健吾

#### IV-3 大腸菌による尿路感染から感染性心内膜炎を発症し外科的治療を行った一例

(東京歯科大学市川総合病院) 鈴木 桂  
大木 貴博、助川 博章、眞野 恵範、宮本 和享、  
守山 英則、井上 仁人、村上 貴志、村田 哲

#### IV-4 心室中隔欠損症があり肺動脈弁単独の感染性心内膜炎を発症した1例

(国保旭中央病院臨床研修センター) 高島 英史  
(国保旭中央病院循環器内科) 濱野 洋、矢島 琴音、佐橋 秀一、市原 慎也、  
荒川 雅崇、平野 智士、早川 直樹、宮地浩太郎、  
榎田 俊一

#### IV-5 急速に増大し、病因の特定に苦慮した左房内腫瘍の1例

(国保旭中央病院循環器内科) 斎藤 航  
榎田 俊一、久慈 広樹

#### IV-6 乳頭筋に付着する巨大な可動性疣腫を認めた感染性心内膜炎の一例

(東京歯科大学市川総合病院循環器内科) 山崎 雄友  
眞野 恵範、守山 英則、助川 博章、宮本 和享、  
大木 貴博  
(東京歯科大学市川総合病院心臓血管外科) 申 範圭、村田 哲、村上 貴志、井上 仁人

### 一般演題 セッション8 弁膜症1

10:30-11:15

座長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 出雲 昌樹  
座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 佐藤 希美

#### IV-7 高度大動脈弁狭窄症の術前検査中に院内CPAとなり、蘇生後に緊急TAVIを施行、術後管理に苦慮した1例

(鹿児島医療センター循環器内科) 寺園 逸正  
園田幸一郎、藪田 正浩、東 健作

IV-8 経カテーテル的大動脈弁留置術中の弁輪破裂に対し、心膜ドレナージが奏功した一例  
(新潟大学医歯学総合病院循環器内科) 内藤 大智  
大久保健志、大窪 愛香、赤川 理恵、鈴木 尚真、  
秋山 琢洋、米山晋太郎、石塚 光夫、久保田直樹、  
池上龍太郎、保屋野 真、尾崎 和幸、猪又 孝元

IV-9 NeoChordを用いたオフポンプ僧帽弁形成術を施行した2例  
(順天堂大学医学部附属順天堂医院心臓血管外科) 遠藤 大介  
田端 実  
(東京ベイ・浦安市川医療センター心臓血管外科) 伊藤 丈二  
(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 金子 智洋、鍵山 暢之、宮崎彩記子  
(東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 渡辺 弘之

IV-10 電気的除細動後にEclipsed mitral regurgitationを繰り返し認めた僧帽弁閉鎖不全症の一例  
(心臓血管研究所付属病院循環器内科) 村井 駿  
有田 卓人、鈴木 信也、廣田 尚美、八木 直治、  
大塚 崇之、矢嶋 純二、山下 武志

IV-11 化膿性脊椎炎およびクモ膜下出血を合併した僧帽弁位感染性心内膜炎の1例  
(東海大学医学部附属八王子病院) 山本 堯佳  
山口 雅臣、古屋 秀和、桑木 賢次

IV-12 機械弁二弁置換術後の難治性小腸出血のため、Command手術による生体弁への再二弁置換術を施行した一例  
(東京慈恵会医科大学心臓外科) 石割 圭一  
小倉 翔太、有村 聡士、高木 智充、松村 洋高、  
儀武 路雄、長堀 隆一、坂東 興、國原 孝

## 一般演題 セッション9 弁膜症2

11:25-12:10

座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 原 英彦  
座長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 佐藤 如雄

IV-13 高齢者における肺動脈四尖弁とASDに伴う無症候性severe PSと肺動脈瘤に対し、外科的介入を行った一例  
(さいたま市立病院心臓血管外科) 岩渕 拓哉  
遠藤 祐輝、島村 吉衛  
(さいたま市立病院循環器内科) 川村 陽大、勝木 俊臣、中澤 直美、藤澤 大志、  
中嶋 一晶、神吉 秀明

IV-14 経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) と経皮的僧帽弁裂開術 (PTMC) を一期的に施行しえた1例  
(千葉県循環器病センター循環器科) 原田 悠斗  
井上 寿久、角谷 吾郎、芝 大樹、清水 太郎、  
矢野恵理子、原田 順哉、平沼 泰典、小澤 大介、  
伊藤 良浩、田永 幸正、中村 精岳

IV-15 DVR後の僧帽弁位人工弁周囲逆流に対しManougian法にて再大動脈弁置換と人工弁周囲逆流を修復した症例  
(千葉西総合病院心臓血管外科) 牛島 将希  
中村 善次、伊藤雄二郎、古舘 晃、鶴田 亮、  
黒田 美穂、中山 泰介、吉山 大貴、安元 勇人、  
新妻 楠美、澤 真太郎

IV-16 Mitra Clip適応外となったが完全ロボット支援下手術により奏功した僧帽弁閉鎖不全症の一例  
(ニューハート・ワタナベ国際病院心臓血管外科) 加藤 裕樹  
宮城 基、小坪 徹、堀川 貴史、石川 紀彦、  
富田 重之、大塚 俊哉、渡邊 剛

IV-17 成人ROSS手術の新たな適応：当院の経験から  
(国際医療福祉大学三田病院心臓外科) 吉尾 敬秀  
伊藤 仁人、高梨秀一郎  
(高槻病院心臓外科) 大北 裕

IV-18 Sapien 3 Ultra RESILIA 20mm留置後に溶血性貧血を起こした一例  
(帝京大学医学部附属病院循環器内科) 鬼頭 健人  
野田 信吾、中田 聡、中村 環、横井 樹、  
笹島 佑、高村慎太郎、片岡 明久、渡邊 雄介、  
横山 直之、川嶋 秀幸、上妻 謙

ランチョンセミナー4 12:20-13:10 共催：日本ペーパードクターインゲルハイム株式会社/日本イーライリール株式会社  
座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 前嶋 康浩

「ESKD 発症予防を考慮したDKD 治療におけるSGLT2 阻害薬の役割」  
(順天堂大学腎臓内科) 合田 朋仁

第17回ダイバーシティ・フォーラム／第4回 U-40 企画セッション  
13:20-14:50 座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 森 仁  
座長 (杏林大学医学部附属病院循環器内科) 中田 千穂

「若手循環器医の5つのストーリー ver2：若手として、そして先輩として」

杏林大学における医師の働き方に関わる取り組み  
(杏林大学医学部附属病院循環器内科) 竹内 真介

働き方改革に向けての取り組み～医師として、医局として、病院として～  
(山梨大学医学部附属病院) 堀越 健生

東京医科歯科大学循環器内科の魅力と今後の役割  
(東京医科歯科大学循環器内科) 大森 真理

大都会にある開放的な医局、東京医科大学病院  
(東京医科大学病院循環器内科) 小林 正武

NO研究を追い掛けて～東京、Boston、所沢～  
(防衛医科大学校循環器内科) 足立 健

デザートセミナー4 15:00-15:50 共催：日本ライフライン株式会社  
座長 (慶應義塾大学病院循環器内科) 高月 誠司

カテーテルアブレーション後の患者管理を再考する

VASCADE MVPの当院における使用経験  
(東京医科歯科大学循環器内科) 後藤健太郎

長時間心電計の有用性と課題 ~どのようにして、心房細動検出していますか?~

(国立国際医療研究センター病院循環器内科) 榎本 善成

一般演題 セッション10 デバイス/心不全

16:00-16:50

座長 (獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科) 豊田 茂

座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 松本 和久

IV-19 ペースメーカー心室リードによる遅発性の心室穿孔に対し経皮的リード抜去術を施行した一例

(平塚共済病院循環器内科/東京医科歯科大学循環器内科)

新井 亮太

柏 良之輔、宮崎 紘子、羽生 佳弘、飯谷 宗弘、

秋吉 基光、岩井 慎介

(平塚共済病院循環器内科)

荒木 恵子、村本 容崇、小林 一士、大西 祐子

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

IV-20 心外膜へ穿通した心室リードを再留置し心タンポナーデに至った一例

(東京都立大久保病院循環器内科)

田原 紘樹

竹田 康佑、秋津 克哉、森山 優一、谷井 博亘、

岡野 喜史

IV-21 左室中隔ペーシングを行った後、約1年でペースメーカー心をきたした一例

(川崎幸病院)

門間 周

三浦 史晴、三好 由、齋藤理香子、原田 修平、

板倉 大輔、和田 真弥、安藤 智、佐々木法常、

高橋 英雄、斉藤 直樹、福富 基城、羽鳥 慶、

福永 博、大西 隆行、保科 瑞穂、谷崎 友香、

桃原 哲也

IV-22 内科的治療により軽快した心臓デバイス関連感染性心内膜炎及び人工弁弁輪部膿瘍の1例

(筑波メディカルセンター病院循環器内科)

佐藤 匠

大澤 匠、越智 明德、文藏 優子、仁科 秀崇

IV-23 CRTのresponderの予測にドブタミン負荷エコー (DSE) が有効であった非左脚ブロック型心不全の一例

(国保旭中央病院循環器内科)

荒川 雅崇

外田 望、矢島 琴音、佐橋 秀一、平野 智士、

市原 慎也、井ノ口安紀、早川 直樹、宮地浩太郎、

櫛田 俊一

IV-24 Mimicking mitral stenosisによる難治性心不全の一例

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野)

柴田 航平

土橋慎太郎、小松 洋介、菊島 朋正、木内 俊介、

中西 理子、佐地 真育、藤野 紀之、天野 英夫、

久武 真二、池田 隆徳

IV-25 糖尿病性ケトアシドーシスと悪性症候群を合併した心原性ショックに対してEcpella管理で救命に成功した一例

(東京医科大学病院循環器内科)

小松崎友樹夫

中野 宏己、山下 淳、中島 悠希、松尾 礼、

可児 純也、里見 和浩

(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

伊藤 亮介

(新座志木中央総合病院循環器内科)

大森 麻由、高田洋一郎

## 第V会場

### 一般演題 セッション11 肺高血圧/高血圧・低血圧

9:00-9:35

座長 (国際医療福祉大学三田病院肺高血圧症センター) 田村 雄一  
座長 (自治医科大学附属病院循環器内科) 小古山由佳子

#### V-1 診療データを用いた成人先天性心疾患患者における臨床検査頻度及び肺高血圧症発生率の実態調査

(ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部) 林 泰弘  
大村 淳一  
(筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

#### V-2 診療データを用いた成人先天性心疾患関連肺高血圧症患者に対する肺血管拡張薬処方実態調査

(ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部) 林 泰弘  
大村 淳一  
(筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

#### V-3 繰り返す喀血を呈した肺動脈圧低下後の慢性血栓塞栓性肺疾患の一例

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 佐々木 寧  
皆月 隼、森下 圭、小林 裕貴、黒木菜見人、  
八木 宏樹、相馬 桂、武田 憲文、波多野 将、  
森田 啓行  
(東京大学医学部附属病院放射線科) 貝梅 正文、渡邊 祐亮

#### V-4 急性肺塞栓症加療後のルーチン評価では診断困難な肺高血圧を伴わない慢性血栓塞栓性疾患の1例

(北里大学医学部循環器内科学) 神宮 裕太  
石井 俊輔、瀧上 悠、飯倉早映子、江田 優子、  
藤田 鉄平、飯田祐一郎、池田 祐毅、阿古 潤哉

#### V-5 線維筋性異形成による腎血管性高血圧に対しballoon血管形成術を施行した若年成人女性の1例

(東海大学医学部附属病院循環器内科) 岩田 朋大  
中村 則人、飯村 和真、大村 遼資、吉川万里江、  
上岡 智彦、伊地知 健、大野 洋平、永井 知雄、  
伊莉 裕二

### 一般演題 セッション12 心筋炎・心筋症1

9:50-10:50

座長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 相澤 義泰  
座長 (東京女子医科大学画像診断・核医学/循環器内科) 山本 篤志

#### V-6 ATTR心アミロイドーシスを地域で診ることを目的とした病病連携の1例

(南魚沼市民病院循環器内科/自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 石橋 峻  
(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 牧 尚孝、藤田 英雄  
(魚沼基幹病院循環器内科) 木村 新平  
(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科) 柏村 健

#### V-7 NSAIDs投与により増悪した好酸球性心膜心筋炎の一例

(日本医科大学付属病院循環器内科) 古澤 佳明  
久保田芳明、高圓 雅博、小林 芹奈、伊藤 紳晃、  
築山 寛、太良 修平、岩崎 雄樹、浅井 邦也

V-8 分子標的薬エヌトレクチニブ投与3週間後に心原性ショックで死亡し剖検で不整脈原性右室心筋症を認めた一例

(順天堂大学医学部附属順天堂医院呼吸器内科) 宮木 朋葉  
(順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科) 井上 健司、赤間 友香、竹内 充裕、國本 充洋、  
福田健太郎、比企 優、新居田登三治、  
久保田直純、田淵 晴名、田村 浩、磯田 菊生  
(順天堂大学医学部附属練馬病院病理診断科) 天笠 眞緒、照喜名宏之、小倉加奈子  
(順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科) 高橋 和久  
(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹

V-9 ステロイド内服中に活動性再燃を呈した心臓サルコイドーシスの一例

(日本医科大学付属病院循環器内科) 星加 りさ  
野間さつき、齋藤 優、渡邊 将央、藤本 雄飛、  
淀川 顕司、岩崎 雄樹、浅井 邦也

V-10 肥大型心筋症と診断されていたが、精査の結果Fabry病の診断に至った後期高齢患者の一例

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 原 晴彦  
加藤 隆生、小池 拓真、金子 智洋、内藤 亮、  
土肥 智貴、林 英守、南野 徹

V-11 心アミロイドーシスの初期に限局性輝度亢進を伴う左室下壁基部壁運動異常を認めた一例

(埼玉病院循環器内科) 丹羽 直哉  
古田島太希、笹島 康平、井合 渉、栗原 和人、  
磯田 徹、佐藤 篤志、田中 宏明、鶴見 昌史、  
小野 智彦、松村 圭祐

V-12 COVID-19罹患後の劇症型心筋炎に対してImpella CPによる補助循環療法が奏功した一例

(都立広尾病院循環器科) 小峰 征也  
土山 高明、三浦麻利衣、鈴木 美波、神崎 拓、  
砂川 昌隆、津野 航、水沼 吉章、佐々木高史、  
山岡広一郎、鯨岡 裕史、吉田 精孝、高橋 正雄、  
北條林太郎、深水 誠二

V-13 各種検査所見の乖離から心アミロイドーシスの合併を診断し得た狭心症患者の一例

(横浜市立大学附属市民総合医療センター初期研修医) 入江 友惟  
(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 花島 陽平、岡田 興造、菅野 晃靖  
(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科/横浜市立大学医学部循環器内科学教室) 日比 潔

### 一般演題 セッション13 心筋炎・心筋症2

11:10-12:10

座長 (亀田総合病院循環器内科) 植島 大輔  
座長 (東京女子医科大学先端生命科学研究所/循環器内科) 高田 卓磨

V-14 緩徐に進行した劇症型リンパ球性心筋炎に対しImpella, ステロイドパルス療法を施行し救命した1例

(成田赤十字病院循環器内科) 松山 稔矢  
田村 有、服部浩二郎、橘 昌利、松岡 孝明、  
大野 祐司、山田 興、青木 康大、橋口 直貴

V-15 肥大型心筋症を完全に模倣したクッシング症候群心筋症の1例

(東京女子医科大学病院循環器内科) 大藪謙次郎  
南 雄一郎、春木伸太郎、服部 英敏、山口 淳一  
(済生会川口総合病院循環器内科) 高木 厚

V-16 冠攣縮性狭心症の精査を契機に診断へ至った古典的Fabry病の一例  
(土浦協同病院循環器内科) 田原 智大  
白井 英祐、峯尾 堯、坂本 達哉、瀬戸口実玲、  
上野 弘貴、野上 開、長嶺 竜宏、羽田 昌浩、  
角田 恒和  
(東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志、笹野 哲郎

V-17 完全房室ブロック発症後、たこつば症候群を併発した心原性ショックにImpella CPが有効であった1例  
(亀田総合病院循環器内科) 野田 誠之  
竹川 弘毅、植島 大輔、中村 瑠美、柴田 瑛帆、  
三石 一成、吉山 慶太、篠崎 智哉、中田 亮、  
宮國 翔太、川上 拓也、高野 寿一、廣木 次郎、  
吉岡 賢二、大谷 拓史、大野 真紀、岩塚 良太、  
水上 暁、松村 昭彦  
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

V-18 心臓MRIが不整脈原性右室心筋症の診断と重症度評価に大きく寄与した一例  
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 鈴木 芳和  
樋口 聡、谷澤 宏樹、新井 脩平、浅野 拓、  
新家 俊郎

V-19 心嚢ドレナージの併用でImpella挿入を回避しえた劇症型心筋炎の一例  
(東京医科歯科大学循環器内科) 小山 拓人  
荒木 誠、野崎小百美、吉川 宏、根岸 美帆、  
池ノ内 孝、平澤 憲祐、田尾 進、米津 太志、  
笹野 哲郎  
(東京医科歯科大学医学部心臓血管外科) 藤原 立樹、長岡 英気、藤田 知之

V-20 心室細動で発見され、冠攣縮狭心症を合併した心尖部瘤を伴う肥大型心筋症の1例  
(川口市立医療センター循環器内科) 増田 光  
林田 啓、新井 基広、笹 優輔、庄司 泰城、  
須貝昌之助、渥美 渉、池田 敦、立花 栄三、  
國本 聡

V-21 若年男性の心膜炎を契機にSLEの診断となった一例  
(さいたま市民医療センター循環器内科) 田島 匠  
笠原 卓、衣川 瑞人、堀 陽一、原口由美子、  
中村 智弘

ランチオンセミナー5 12:20-13:10 共催：ニプロ株式会社  
座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志

VAD治療をより身近なものに～長期在宅補助人工心臓治療 (DT) により広がる重症心不全の治療選択肢～  
(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 岩花 東吾

学術委員会企画セッション 13:20-14:50 座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 北原 秀喜  
座長 (東海大学医学部附属病院循環器内科) 田中 重光

重症虚血性心疾患におけるImpellaの役割を考える

急性心筋梗塞におけるImpellaの治療成績-J-PVADレジストリからの知見  
(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 齋藤 佑一

心原性ショックを合併した左冠動脈主幹部閉塞のSTEMI症例に対し、ECPELLA管理とMitraClipによって救命しえた1例

(北里大学循環器内科学) 岩谷 俊之  
箸方 健宏、下浜 孝郎、阿古 潤哉

Impellaが奏功した大動脈弁逆流症・僧帽弁逆流症合併の虚血性心原性ショックの1例

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター) 桐ヶ谷英邦  
岡田 興造、菅野 晃靖、日比 潔

重症虚血性心疾患におけるCHIP PCIとImpellaサポート：現状と未来展望

(東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 小船井光太郎

デザートセミナー5

15:00-15:50

共催：プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

座長（東京医科歯科大学循環器内科）前嶋 康浩

「どうすりゃいいの？シニアAFへのアプローチ」

(北里大学病院総合診療部総合診療内科) 岸原 淳

心不全療養指導士セッション

16:00-17:30

東京「心不全療養指導士」コレクション ～資格取得後の療養指導の実践報告と今後の展望～

◆第1部◆ 実践報告

座長（東京女子医科大学病院看護部）若林 留美

座長（聖マリアンナ医科大学病院治験管理室）土岐 真路

【在宅訪問栄養士の視点で考える心不全療養～住み慣れた地域で「食」を支えるために～】

(福寿会病院在宅診療部) 駒井 紅美

心不全療養指導士の展望

(聖マリアンナ医科大学病院看護部循環器内科) 斉藤 岳史

地域薬剤師会における血圧測定推進キャンペーンによる保険薬局薬剤師の心不全に対する意識変化と課題

(薬樹株式会社 薬樹薬局宮前平2号店) 大貫 ミチ

◆第2部◆ 総合討論

座長（東京女子医科大学病院看護部）若林 留美

座長（聖マリアンナ医科大学病院治験管理室）土岐 真路

「療養指導士取得後に見えてきた新たな課題とその解決策を議論する」

〈ディスカッサント〉

(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部) 中島美知穂

(横浜南共済病院地域支援センター) 三橋 啓太

(東京医科大学病院栄養管理科) 福勢麻結子

(大崎病院東京ハートセンター理学療法室) 曾部 健太

(福寿会病院在宅診療部) 駒井 紅美

(聖マリアンナ医科大学病院看護部循環器内科) 斉藤 岳史

(薬樹株式会社 薬樹薬局宮前平2号店) 大貫 ミチ

## 第VI会場

### 一般演題 セッション14 心膜腫瘍

9:30-10:15

座長 (横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 有馬 秀紀

座長 (がん研究会有明病院腫瘍循環器内科) 上原 雅恵

#### VI-1 血管内視鏡ガイド下腫瘍生検により転移性心臓腫瘍との確定診断に至った1例

(筑波大学附属病院循環器内科)

朽津 駿介

寺内 泰観、佐藤 希美、渡部 浩明、家田 真樹

#### VI-2 術前画像診断で左房粘液腫を疑うも術後経過と増大する肺腫瘍病理から心臓原発軟骨肉腫の診断となった一例

(さいたま赤十字病院)

目黒 眞

羽田 泰晃、黒坂 英司、池口 琴乃、忠岡 直樹、

松本 慧、中田健太郎、成田 岳、道下 俊希、

磯長 祐平、加藤 駿一、橘 伸一、大屋 寛章、

狩野 実希、高木 崇光、稲村 幸洋、根木 謙、

佐藤 明、大和 恒博、稲葉 理、松村 穰

#### VI-3 食道癌放射線治療後の放射線性心膜炎に低用量ステロイド治療を施行するも不幸な転帰をたどった一例

(草加市立病院循環器内科)

東山 陽子

工藤 侃、田代 燦、戸舎 稚詞、須藤 悠太、

古浦 賢二、岡田 寛之、稲垣 宏

(東京医科歯科大学循環器内科)

笹野 哲郎

#### VI-4 低心機能に伴う両心室内血栓に対して内視鏡を用いた外科的血栓除去術を施行した症例

(さいたま市立病院)

宮川 洋平

遠藤 祐輝、島村 吉衛、小山 卓史、神吉 秀明、

中嶋 一品、藤澤 大志、勝木 俊臣、中澤 直美

#### VI-5 コントロール不良の心嚢液貯留に対して心膜開窓と大網充填を行った2例

(榊原記念病院成人心臓外科)

勝部 年雄

迎 洋輔、陳 軒、在國寺健太、岩倉 具宏、

下川 智樹

#### VI-6 房室伝導近傍心房中隔より派生した右房内乳頭状弾性線維腫の一手術例

(東京臨海病院心臓血管外科)

古川 博史

寶亀 亮悟

(東京臨海病院循環器内科)

澤田 昌成、江渕 康柔、右田 卓、河内 啓子、

向後 隆章、園田 和正、野本 和幹

(東京女子医科大学心臓血管外科)

市原 有起、新浪 博士

### 一般演題 セッション15 腫瘍循環器

10:25-10:55

座長 (国立がん研究センター東病院循環器科) 田尻 和子

座長 (北里大学医学部循環器内科) 北里 梨紗

#### VI-7 抗がん剤治療中に心電図変化を伴う胸痛発作を生じた3症例

(飯田市立病院循環器内科)

井上 航

赤沼 博、山本 一也、片桐 有一、上島 彩子、

毛涯 秀一、辻中 佑介

VI-8 肺転移を繰り返す子宮平滑筋肉腫の経過中、偶発的に指摘された上行大動脈に突出する左室内転移の一例  
 (亀田総合病院循環器内科) 中村 瑠美  
 川上 拓也、野田 誠之、三石 一成、益城 惇、  
 篠崎 智哉、中田 亮、宮國 翔太、竹川 弘毅、  
 高野 寿一、廣木 次郎、大谷 拓史、大野 真紀、  
 水上 暁、植島 大輔、松村 昭彦

VI-9 乳頭筋、腱索原発と考えられた粘液腫の一例  
 (横浜南共済病院循環器内科) 角田 貴大  
 清水 雅人、酒井 瑛子、清水 厚哉、三須 彬生、  
 立石 遼、山口 正男、加藤 信孝、島田 博史、  
 一色 亜美、鈴木 秀俊、藤井 洋之、鈴木 誠  
 (横浜南共済病院心臓血管外科) 橋山 直樹、輕部 義久、孟 真  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

VI-10 高度石灰化を伴う右室線維腫と冠動脈狭窄に対して腫瘍摘出と冠動脈バイパス術を併施した1例  
 (国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター心臓外科) 伊藤 仁人  
 吉尾 敬秀、高梨秀一郎  
 (国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター循環器内科) 大門 雅夫

**一般演題 セッション16 末梢血管/静脈/大動脈**  
 11:05-12:10

座長 (横須賀共済病院循環器内科) 菱刈 景一  
 座長 (東邦大学医療センター佐倉病院心臓血管外科) 田中 千陽

VI-11 ストロングスタチンによる長期間の脂質低下療法で、内頸動脈プラークの退縮が得られた一例  
 (秀和総合病院循環器科) 保田惇ノ介  
 後藤 亮、木村 文香、松田 隼治、萩元 宣彦、  
 安達 進  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

VI-12 末梢動脈疾患患者に対する血管内治療後の出血合併症の予期因子・予後因子の解析  
 (横須賀共済病院循環器内科/東京医科歯科大学循環器内科) 渡邊 崇弘  
 菱刈 景一、張 峻模、伊藤 諒、矢野 弘崇、  
 川口 直彦、中島永美子、村井 典史、高木 克昌、  
 大久保健史、田中 泰章、疋田 浩之、高橋 淳  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志、笹野 哲郎  
 (済生会横浜市東部病院循環器内科) 毛利 晋輔、山脇 理弘、伊藤 良明  
 (総合高津中央病院循環器内科) 山内 靖隆  
 (大和成和病院循環器内科) 土井尻達紀  
 (湘南鎌倉総合病院循環器内科) 飛田 一樹

VI-13 遺残坐骨動脈を病変にもつ下肢閉塞性動脈疾患に対する血管内治療にて血栓性病変を認めた2例  
 (横須賀共済病院循環器内科) 張 峻模  
 菱刈 景一、松本 拓己、高橋 健、益本 寛之、  
 渡邊 崇弘、池田 博、山口 雄大、伊藤 諒、  
 矢野 弘崇、川口 直彦、中島永美子、村井 典史、  
 高木 克昌、大久保健史、田中 泰章、高橋 淳  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

VI-14 腹部anginaに対してバイパス手術による外科的血行再建が奏功した症例  
 (さいたま赤十字病院循環器内科) 松本 慧  
 松村 穰、羽田 泰晃、根木 謙

VI-15 表在性静脈奇形が血栓源と考えられた急性肺血栓塞栓症の一例  
 (AOI国際病院) 鎌田 龍明  
 川端美穂子、米内 竜、川島 朋之、前田 真吾、  
 平尾 見三  
 (横浜みなと心臓クリニック) 沖重 薫  
 (AOI八王子病院) 新 博次

VI-16 中枢型深部静脈血栓症に遠位静脈穿刺によるwire pull-through法が奏功し経皮的血栓除去術に成功した一例  
 (日本医科大学千葉北総病院) 澤谷 倫史  
 白壁 章宏、小林 綺音、神谷 尚吾、谷 憲一、  
 木内 一貴、西郡 卓、嶋原 祥太  
 (日本医科大学付属病院) 浅井 邦也

VI-17 難治性深部静脈血栓症に対してアルテプラゼによるカテーテル血栓溶解療法が著効した1例  
 (国立国際医療研究センター病院) 小澤 征紀  
 (国立国際医療研究センター病院循環器内科) 山本 純平、久保田修司、山本 正也、原 久男、  
 廣井 透雄

VI-18 自己免疫性萎縮性胃炎に伴う高ホモシステイン血症により肺血栓塞栓症をきたした一例  
 (自治医科大学附属病院循環器内科) 加倉井俊也  
 菊尾 七臣、原田 顕治、篠原 肇、久保田香葉

VI-19 急性大動脈解離後、大動脈瘤内壁血栓の増加によるDdimer上昇に対してDOAC内服を再開し改善した一例  
 (北里研究所病院循環器内科) 福澤 美穂  
 石田 弘毅、石田 三和、東條 大輝  
 (北里大学病院循環器内科) 阿古 潤哉

ランチオンセミナー6 12:20-13:10 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
 座長 (東京医科大学病院循環器内科) 里見 和浩

「The Evolution of CARTO Technology」

「QMODE+™を心房細動治療にいかん活用するか」  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 田尾 進

「心室頻拍アブレーションの実際と最近の話題」  
 (東京医科歯科大学循環器内科) 西村 卓郎

会長企画セッションⅡ 13:20-14:50 座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志  
 座長 (東京医科歯科大学心臓血管外科) 藤田 知之

Up-to-date: 重症心不全治療の最先端

重症心不全の薬物療法アップデート  
 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小坂橋紀通

心原性ショックにおける機械的補助デバイス治療における“予後改善の鍵”  
 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 中田 淳  
 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療学科) 小山内悠介、高橋 應仁、石原 翔、蜂須賀誠人、  
 木村 徳宏、澁谷 淳介、塩村 玲子、宮地 秀樹、  
 山本 剛、浅井 邦也

DT-VADで心不全治療がどう変わるか

(東京医科歯科大学心臓血管外科)

藤田 知之

藤原 立樹

我が国における心臓移植の現状と課題

(東京大学医学部附属病院循環器内科/高度心不全治療センター)

波多野 将

一般演題 セッション17 その他/基礎研究/川崎病

15:00-15:50

座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 野村征太郎

座長 (杏林大学医学部附属病院循環器内科) 舟橋紗耶華

VI-20 繰り返す原因不明の肺水腫に対して経皮的腎動脈形成術が奏功した1例

(済生会宇都宮病院循環器内科)

渡邊 桂子

西田 裕明、野間 重孝、上野 耕嗣、下地顕一郎、

横田 裕之、森 健支、八島 史明、古瀬 領人、

岩堀 浩也、吉島 信宏、三角 香世、松村 英斉、

佐藤 允俊、杉本 遼太

VI-21 脾臓にて組織診断がついた心サルコイドーシスの一例

(獨協医科大学病院心臓血管/循環器内科)

高山 紗和

西川 理孝、上原 大毅、長沼 仁、矢澤 寛子、

渡邊 諒、正和 泰斗、伊波 秀、有川 拓男、

豊田 茂

VI-22 転倒による胸部打撲後、1週間の経過で発症した心タンポナーデの一例

(東京医科歯科大学総合教育研修センター)

山崎 明

(東京医科歯科大学循環器内科)

岸上 哲也、中田 光宥、渡邊 匠、大森 真理、

山本 佑、山上 洋介、後藤健太郎、高宮 智正、

杉山 知代、滝川 正晃、米津 太志、宮崎 晋介、

前嶋 康浩、笹野 哲郎

VI-23 初発の非代償性心不全発症の半年後に再検査したFDG-PET検査で心限局性サルコイドーシスの診断に至った一例

(水戸医療センター)

見城 通友

丸田 俊介、田畑 文昌、茂木 奈穂、鮎澤 祥吾、

黒田 裕和、小泉 智三

VI-24 脳梗塞を合併した僧帽弁置換術後の巨大左房の1例

(高崎総合医療センター心臓血管内科)

石橋 洋平

瀬田 博貴、高橋 洋右、千吉良彩花、柴田 悟、

羽鳥 直樹、高橋 伸弥、村田 智行、小林 絃生、

太田 昌樹、福田 延昭、広井 知歳

VI-25 推定糸球体ろ過量の経時的な低下と循環器疾患死亡との関連: 茨城県健康研究

(筑波大学人間総合科学学術院/茨城県西部メディカルセンター初期臨床研修医)

青木 鐘子

(筑波大学人間総合科学学術院/茨城県西部メディカルセンター)

山岸 良匡

(筑波大学人間総合科学学術院/国立国際医療研究センター)

磯 博康

VI-26 川崎病性冠動脈瘤に発症した急性下壁心筋梗塞による院外心停止の一例

(横浜市立市民病院循環器内科)

西堂 寛和

新村 大輔、間瀬 太朗、中野順之佑、長谷川怜史、

小澤 貴暢、北島 龍太、山下 皓正、樫村 晋、

酒井 正憲、福本耕太郎、小浦 貴裕、根岸 耕二

**医療安全・医療倫理に関する講習会（DVDセッション）**

**16:00-18:00**

本セッションでは、第87回日本循環器学会学術集会で収録したプログラムをご覧ください。

# 榊原記念研究助成 研究成果発表会

13:00 ~ 16:00 / 4階 402A

共催：第270回日本循環器学会関東甲信越地方会

---

## <式次第>

---

- 理事長挨拶 13:00 ~ 13:10
  - 第21回榊原記念研究助成 採択者 贈呈式 13:10 ~ 13:25
  - 第19回榊原記念研究助成 研究成果発表会 13:25 ~ 14:40
- 座長 (公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院) 細田 徹

### 『コロナ感染とTelemedicine/Telehealth』（発表は1題10分、質疑応答は5分）

ビデオフォトプレチスモグラフィー（VPG）を応用した新型コロナウイルス患者の安全な在宅フォロー支援のための新たなモニタリングツールの開発

（北里大学医学部救命救急医学） 丸橋 孝昭

重症新型コロナウイルス（COVID-19）肺炎のモニタリングデータを用いた病態悪化のAI予測モデル構築

（名古屋大学医学部附属病院救急科） 春日井大介

コロナ禍で持続可能な遠隔シミュレーション医学教育の開拓

（弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座） 野村 理

Withコロナ時代の心身健康維持をサポートする人工知能搭載スマートフォンアプリの開発

（京都府立医科大学内分秘・代謝内科学） 岡村 拓郎

血管外科診療におけるクラウド型モバイル端末ネットワークの有用性評価

（東京慈恵会医科大学外科学講座血管外科分野） 福島宗一郎

### 《コーヒーブレイク（15分）》

### 《特別講演》

座長（東京医科歯科大学）

14:55 ~ 16:00

古川 哲史

医療情報システムの現在地とDXの可能性

～電子カルテは、AI、BigData、Cloudで進化できるか～

講師（帝京大学医療情報システム研究センター） 澤 智博

## 一般社団法人日本循環器学会 支部規程

### (総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

### (事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

### (目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

### (会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

### (社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

### (支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

### (支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

### (支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

### (支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
  - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
  - 2) 地方会会長の選出
  - 3) 支部運営上重要な規則の承認
  - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
  - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
  - 2) 決定された支部長の確認
  - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
  - 4) 支部運営上重要な規則の確認
  - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
  - 1) 予算・決算
  - 2) 事業計画および事業報告
  - 3) 地方会会長及び地方会開催地
  - 4) 支部長の選出結果
  - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

## 支部コンプライアンス・倫理規程

### (目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

### (定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

### (支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

### 附 則

- 1) 本規程は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

### (総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

### (支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区笹岡町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

### (支部長)

#### 第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

### (副支部長)

第4条 本支部に副支部長1名を置く。

- 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
- 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
- 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を順守しなければならない。

### (支部役員)

#### 第5条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

### (支部監事)

#### 第6条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

#### 第7条

2. 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習会担当幹事1名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事1名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

#### 第8条

2. 支部規程第10条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より15日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の3項をすべて満たすこととする。
  - 1) 65歳以下で7年以上日本循環器学会会員であること
  - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
  - 3) 本支部地方会において過去5年間に3演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会長)

#### 第9条

2. 支部規程第11条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
  - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
  - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
  - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より15日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自

己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。

5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

#### 第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

#### 第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

#### 第12条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。

10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めたとおりとする。

(JCS-ITC 講習会)

#### 第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。  
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め(漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認)の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

#### 第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

#### 附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

令和5年10月1日一部改定

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。  
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。  
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。  
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。  
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携  
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施  
3) その他必要な業務

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂



**Abbott**

# HIGH-VOLTAGE HUGE IMPACT

すべての患者様が人生を変えるような治療を受けることが可能であるべきです。アボットのICDおよびCRT-Dソリューションは、日常生活に取り入れやすい使い勝手を目指し、臨床転機に貢献します。



**EMPOWERING YOU.  
EMPOWERING YOUR PATIENTS.  
POWERED BY ABBOTT.**

製造販売元

**アボットメディカルジャパン合同会社**

〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号  
汐留シティセンター

TEL 03-6255-6372 FAX 03-6255-6373

販売名: ギャラン ICD 承認番号: 30200BZX00247000

販売名: ギャラン HF 承認番号: 30200BZX00246000

注 意: 本品のご使用に際しては、添付文書等を必ずお読みください。

™ Indicates a trademark of the Abbott group of companies.

©2023 Abbott. All rights reserved.

MAT-2008923 v2.0 | Item approved for Japan use only.







アンジオテンシン受容体ネプリラシリン阻害薬(ARNI)

薬価基準収載

**エンレスト錠** 50mg  
100mg  
200mg

Entresto® Tablets サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物錠

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、  
禁忌を含む注意事項等  
情報等につきましては  
電子添文をご参照ください。

製造販売 (文献請求先及び問い合わせ先)

**ノバルティス ファーマ株式会社**  
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト 販売情報提供活動に関するご意見  
TEL: 0120-003-293 TEL: 0120-907-026  
受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝祭日及び当社休日を除く)

提携 文献請求先及び問い合わせ先  
**大塚製薬株式会社** 大塚製薬株式会社 医薬情報センター  
東京都千代田区神田司町2-9 〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

ENR00006IH0003

2023年2月作成

ER2302024

日本イーライリリーと田辺三菱製薬は、  
糖尿病をもつ人が人生100年時代の日本で  
いきいきと過ごすことができるよう、  
糖尿病治療薬を通して貢献するため、  
全力を尽くして参ります。

世界中の人々のより豊かな人生のため、  
革新的医薬品に思いやりを込めて。



製造販売元 (文献請求先及び問い合わせ先)  
**日本イーライリリー株式会社**  
神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

Lilly Answers リリーアンサーズ

日本イーライリリー 医薬情報問い合わせ窓口 (医療関係者向け)  
**0120-360-605**<sup>\*1</sup>

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30<sup>\*2</sup>

<sup>\*1</sup> 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。  
尚、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。  
<sup>\*2</sup> 祝祭日および当社休日を除きます。

病と向き合うすべての人に、  
希望ある選択肢を。



販売元 (文献請求先及び問い合わせ先)  
**田辺三菱製薬株式会社**  
大阪市中央区道修町3-2-10

製品情報に関するお問い合わせ  
TEL: 0120-753-280<sup>\*1</sup> (くすり相談センター)  
販売情報提供活動に関するご意見  
TEL: 0120-268-571<sup>\*1</sup>

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:30<sup>\*2</sup>

<sup>\*1</sup> 通話料は無料です。  
<sup>\*2</sup> 祝祭日および当社休日を除きます。



## ヤンセンが目指すのは、 病が過去のものになる未来を作ることです。

世界のすべてが、私たちの研究室。  
病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、  
世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。  
新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。  
そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社 [www.janssen.com/japan](http://www.janssen.com/japan) [www.facebook.com/JanssenJapan](https://www.facebook.com/JanssenJapan)



生薬には、  
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラ  
は考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤に  
とって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える  
私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを  
抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を  
生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

## 良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)



経皮吸収型・β<sub>1</sub>遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

# β **ビソ** テープ<sup>®</sup> 2mg・4mg・8mg

(ピンプロロール・テープ剤)

*Bisono tape* 2mg・4mg・8mg



製造販売

■ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、  
製品添付文書をご参照下さい。

2021年10月作成  
BTB5208D

[文献請求先・お問い合わせ先] トアエーヨ-株式会社 信頼性保証部 / 電話 0120-387-999



